

「わたしは、だれが死ぬのも喜ばない一神である主のことはー。だから立ち返って、生きよ。」

(旧約聖書 エゼキエル書18章32節)



大変ありがたいことに、昨年度も複数の報道機関に取材いただきました。
(左の写真はCBCテレビの放映の一部です。このコラムの下のQRコードより、YouTubeもぜひご覧ください。) テレビ・新聞をご覧になって初めて私たちの活動を知った方や支援を申し出てくださった方も多く、心から感謝しています。

一方で一つだけ心残りなことは、「予期せぬ妊娠」への注目が集まる中で、妊娠相談以外の私たちの活動を知っていただく機会が少ないことです。昨年度の相談者の内訳は、妊娠相談が41%、中絶後相談が56%。妊婦さんの支援と比べると「絵になりにくい」中絶後相談ですが、実際には私たちの相談者の半数以上を占めています。

中絶後の相談者の多くは、「絶望」した状態で連絡をくださいます。さまざまな事情の中で、自分自身の選択によって大切な赤ちゃんを失い、そしてもう二度と戻って来ないこと。その現実を前に、「生きて意味がない」「死にたい」という言葉が出てくるのはある意味では自然なことです。カウンセラーでさえ相談者と一緒に絶望的な気持ちになることもあります。でもカウンセリングをする中で、死にたいほどの苦しみの中で生きるのは、順風満帆の快樂の中で生きるよりも尊いことであると気づかされます。手術をきっかけに夫婦関係について夫と改めて話したこと。命の大切さがわかるようになったこと。自分が深く傷ついたのと同じように、自分も他の誰かを傷つけていたことに気づいたこと。絶望の中でこそ見つかる希望もあるのです。取り返しのつかないことを経験した後でも、人生の取り返しはつくだということを、相談者から日々教えられています。

ボランティアカウンセラー 富田美代子



←2023年9月20日 CBCテレビ「チャント！」にて放映いただいた内容をYouTubeでご視聴いただけます。

2023年度(1-12月) 活動報告

<相談実績(新規相談者数)> Phone/email clients

妊娠 Pregnant	133	相談中に出産を決心：6名
中絶後 Post-abortion	182	ステップ学習開始：65名 ステップ学習終了：10名
その他 Other	11	
合計(人)	326	

<ホームステイ実績> Homestays

特別養子縁組 Adoption	2	
シングルマザー Single mother	5	うち前年からの継続2名
その他 Other	1	
合計(人)	8	

特に中絶後相談の件数が多い一年でした。ステップ学習開始65名・終了者10名は、どちらも過去5年間で最も多い人数です。ホームステイ利用者も多く、満室状態の期間が長く続きました。ホームステイ「卒業」後も連絡をくれたり事務所や教会に遊びに来てくれたりして、女性自身や赤ちゃんの成長の様子を見るのはとても嬉しい時間です。多くの相談者が与えられ、その対応に必要な人的・経済的資源が与えられていることに感謝いたします。

シングルマザーになったホームステイのインタビュー



「中絶を望んでいた彼が出産したら変わった」
Aさん

Q1. 妊娠がわかった時、どんな気持ちでしたか？

嬉しい気持ちもあったけれど、どうしよう、と思いました。産むのを周囲に反対されそうだったので…。

実際、彼にも自分の家族にも反対されました。全部自分一人でやっていける自信はなくて、でも産みたい気持ちが強くて、悩みました。

Q2. なぜライフ・ホープ・ネットワークにきましたか？

一度は産婦人科で中絶手術の予約をしました。初期中絶ギリギリのタイミングで、月曜日に行ってその週の金曜日の手術を予約したのですが、中絶するなら納得してからの方がいいと思って、金曜日までの間に本当に一人でやれないのかを調べました。

仕事を休んで一日使って区役所でどんな支援があるか、ひとり親がもらえる手当などについて聞きました。にんしんSOSにも電話して相談したら、ライフ・ホープ・ネットワーク(LHN)を紹介されました。

それでLHNに電話をして、泣きながら事情を話したら優しく聞いてくれて、「そんなに産みたい気持ちがあるのに中絶したらうつ病になる」「産みたいならサポートする」と言われて、救われた気がしました。

区役所でも金銭面の支援があることを聞いて多少安心してはいたけれどまだ不安があったのですが、LHNでサポートするとあってもらえて気持ちが楽になりました。

Q3. ライフ・ホープ・ネットワークでの生活はどうでしたか？

シンシア（家主）に優しくしてもらいました。一人だったら孤独だったと思いますが、誰かと一緒に生活できて安心しました。

体が不調な時には心配してくれて、助産師さんに聞いてくれたり、病院の送迎をしてくれたり、助かりました。

Q4. 出産してどうでしたか？

産むのは、辛かったです…

でも、出産の痛みを忘れるぐらい子どもは可愛いです。今は目が離せないから大変だけど、可愛いから何でも頑張れます。子どもを守らないといけない、と思います。

出産に反対していた彼も、赤ちゃんを見せたら興味津々で…。意外と3人でもやっていけるかも、と思い、今は彼と一緒に住んでいます。彼は仕事をしているので子どもの世話はそれほどできないけれど、仕事から帰ってきたらすぐ手を洗って一番に子どものところに行っています！

Q5. これからのことについてはどうですか？

これからも3人で過ごして、子どもが大きくなるまで一緒に育てていきたいです。

お互いの親にも認めてもらえるようにしたいと思っています。私の親にはすでに写真を見せましたが、好意的な反応で、年末に帰っておいでと言われています。

Q6. 同じような状況の方にメッセージはありますか？

私がそうだったように、サポートしてもらえる場所があることを知らない人もいます。知らずに一人じゃ無理だからって中絶してしまうのは思いとどまってほしいです。頼れるところはたくさんある、ということを知ってほしいです。

子どもはめっちゃくちゃ可愛いです。産んで後悔することはなかなかないと思うので、後悔ないようにLHNや保健センターなどを頼ってほしいです。

特別養子縁組を選んだホームステイのインタビュー



「出産予定日1ヶ月前まで漫画喫茶にいた」
Bさん

Q1. 妊娠がわかった時、どんな気持ちでしたか？

検査薬で妊娠がわかった時すでに妊娠3ヶ月でした。

これが初めての妊娠ではなかったので、慌てるより冷静になって「またか・・・できやすいのかなあ・・・」と考えてしまいました。

1回目の妊娠は流産、2回目は中絶してしまっていて、今回は産みたいと思いました。

Q2. なぜライフ・ホープ・ネットワークに来ましたか？

産みたいとは思ったのですが、家族とは縁が切れているし、友達に話は聞いてもらえても助けは求められなくて、どうしようもなく、放置してしまいました。自分で計算して9月に生まれるんだろうとは思いつつ、ギリギリまで現実逃避していました。

友達の家を転々として、直前の半年間は漫画喫茶で寝泊まりしていました。赤ちゃんをトイレで産んで死なせてしまったというニュースを見たこと、妊娠を察した友達に「大丈夫？」と聞かれたことがきっかけで、ようやく8月最終日に養子縁組のあっせん団体に相談しました。その団体から区の保健センターにつながり、病院を初めて受診して、LHNに来ました。

Q3. ライフ・ホープ・ネットワークでの生活はどうでしたか？

過ごしやすかったです。個室で一人になれる環境があって、でも完全に一人であるのも病んでしまうので、毎日の夕飯をみんなで食べたり、程よく人と話せるのがよかったです。

Q4. なぜ養子縁組を選びましたか？

家がなく、仕事もなく、自分で育てられないと思ったからです。

養子縁組あっせん団体や保健センターには、養子縁組ではなく施設に預ける選択肢もあると教えられました。

でも、預けてもいつ迎えに行けるかわからない状態で、赤ちゃんが成長を誰にも見てもらえないのはかわいそうだと思います。私も赤ちゃんの成長を見られないし、施設の職員の人も「親」の立場で見るとは違います。それだったら養子縁組をした方が、赤ちゃんは養親さんに自分の子どものように可愛がってもらえるし、自分も安心できるし、みんなが幸せになる選択肢だと思いました。

Q5. 実際に養子縁組してどうでしたか？

出産後一週間、病院で赤ちゃんと一緒に過ごしました。楽しかったけれど、一週間の終わりが近づくにつれて寂しく感じました。離れたくないとも思いましたが、その先の自分の生活のこともまだわかっていないし、決めたのに意見を变えたくないと思いました。

養親さんには直接赤ちゃんを託すことができました。面会の時には、帝王切開をした私の体のことを真っ先に心配してくれました。本当に優しく、最初は緊張しながら赤ちゃんを抱いていて、めっちゃいい人たちだと思いました。

Q6. これからのことについてはどうですか？

今もまだ赤ちゃんのことを思い出すことがあります。悲しくなったり、産んだ時のことを思い出したりもします。

でも考えれば考えるほどはまってしまっているので・・・。引っ越しや仕事探しなど、まだこれからやらないといけないことがたくさんあります。まずは書類の手続きや生活を整えるのが一番です。

Q7. 同じような状況の方にメッセージはありますか？

誰か一人でもいいから、隠すことなく喋れる人を作ってください。

妊娠したことや、その相手がどういう人かなど、言いつらい背景も全部知ってくれている人がいると、何で悩んでいるかわかってもらえます。一人で考えていると、考えすぎて頭がパンクして何をすればいいかわからなくなってしまいます。人と話す次の行動が変わると思います。

2023年度会計報告

単位：円 JPY

項目	2023年実績	備考	
前期繰越(A) Opening balance	3,375,477		
収入 Income	米国寄付金 Donation from USA	2,611,318	
	教会献金 Donation from church	257,585	
	個人献金 Donation from individuals	925,111	
	受取利息 Interest	11	
	雑収入 Other income	11,976	講師料・為替差益
	LHN収入合計(B) Income total	3,806,001	
支出 Expenditure	人件費 Café wages (homestay)	77,679	ホームステイのカフェモナミでの人件費
	通信・交通費 Communication/Transportation	188,295	
	光熱水料費 Utility	60,000	電気・ガス・水道
	家賃・駐車場 Rent/parking	720,000	
	ホームステイ立替費 Homestay expenses	5,000	
	広告宣伝費 Promotion	101,300	ウェブサイト管理費等
	図書費 Books	0	
	管理諸費 Administration	350,290	税理士報酬・振込料等
	雑支出 Other	105,977	修繕費等
	LHN経費合計 Expenditure subtotal	1,608,541	
収益事業経費 Café expenditure	2,665,793		
支出合計 Expenditure total (C)	4,274,334		
経費外収支 Asset adjustment (D)	△148,414	固定資産償却等	
現預金残高(A+B-C-D) Closing balance	3,055,558		

サポーター募集中です！

ライフ・ホープ・ネットワークは皆様からのご寄付のみで運営されているボランティア団体です。支援を必要としている女性たちと小さな命のために安定的に活動を続けるため、一人でも多くの方にサポートいただければ幸いです。

経済的に
サポートいただける方

● ゆうちょ銀行の口座から
00850-5-131374
「ライフ・ホープ・ネットワーク」

● 他行の口座から
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900 / 店番 089）・当座
口座番号 0131374

励まし＆お祈り
によるサポート

カフェ・モナミに遊びに来たりSNSでつながったりして私たちのことを覚えていただき、お祈りください。

一般社団法人 ライフ・ホープ・ネットワーク

●事務局：〒454-0023 名古屋市中川区石場町2-23-2 ●TEL：052-363-3393
●カフェモナミ：〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-29-13 ●Email: support@lifehopenet.com

<https://www.lifehopenet.com/>

